

2023年 第3回

定例会報告

大分県議会 2023年 第3回定例会で可決された議案

今定例会で可決された新規事業を紹介します。

土木施設災害復旧事業 (74億5,400万円) は、国道212号など道路32カ所、中津市の山国川護岸など河川194カ所を修復します。中津市の小祝漁港の海底の土砂の除去を行う **漁港災害復旧事業 (3億6,000万円)**、由布市湯布院町畑倉地区での地滑り対策を行う **緊急地すべり対策事業 (2億4,750万円)**、日田市の小野川の護岸のかさ上げを進める **河川災害関連事業 (1億8,930万円)** などの改良工事などの予算がつけられました。

文化財保存事業補助事業 (183万円) は、被災した国指定重要無形文化財である日田市の小鹿田焼の唐臼(写真)、県指定有形文化財の中津市の羅漢寺橋の欄干などの修復を助成。



また、運輸業で残業規制が強化される「2024年問題」【本会報3面に掲載】に対応するため、トラック事業者の経営改善を支援する **貨物自動車運送業環境改善緊急支援事業 (3億2,581万円)** を進めます。

財政面では、2022年度の決算剰余金を財政調整用基金などに積み立て、本年度末の財政調整用基金残高は329億円となる見込みとなります。行革目標は330億円ですが、目標に近づいていることは評価できます。

大分市東大道に新たに大分県立中央支援学校

予算外議案では、大分市東大道に新たに開校する大分県立中央支援学校設置に向けた条例の一部改正案が可決されました。

原田たかし後援会への加入をお願いします

原田たかし後援会への加入をお願いします。年会費は1家庭1,000円です。加入していただいた方へは、年4回発行しています「原田たかし会報」と県民クラブ会報「県民ひろば」をお送りいたします。御連絡をお待ちしております。

原田たかし後援会 ☎0977(25)0011

〒874-0838 別府市荘園町3組の2 原田たかし事務所内

県民クラブ所属議員の一般質問より

大分県議会では、定例会での一般質問を毎回12名の年間48名と決めており、それが会派の人数によって割り振られます。大分県議会の定数は43名ですから、だいたい1年に1回の質問です。今定例会では県民クラブから3人が登壇。その中から、今春の選挙で初当選した2人の議員の質問を紹介します。

再任用者の勤務環境の改善を 御手洗朋宏 議員 (大分市選出)

今年度から教職員の定年年齢が段階的に引き上げられ、学校現場の人員不足解決の一助になると期待していたが、継続任用の希望者は60%にとどまっている。「これまでと同様の仕事内容」とする一方で「給与は7割」では、モチベーションも上がらないのではないかと。

定年後も多くの人が学校で働き続けられるために、働き方の選択肢をさらに増やすなど勤務環境の改善が必要ではないかと。

【岡本教育長】現在、再任用者にはフルタイムの他、週2日半や毎日半日などの短時間勤務及び非常勤職員などの働き方の選択肢がある。今年度60歳を迎える方への意向調査では継続希望者が75%を超えている。

給与については、地方公務員法に定める均衡の原則により、国や他県の動向を考慮して決めている。



小中学校給食費の無償化を 若山雅敏 議員 (宇佐市選出)

県内でも小中学校給食費無償化が豊後高田市、宇佐市、姫島村で始まっており、大分市でも来年1月から始まるが、安定的な財源の確保が課題と言える。

県教委は「小中学校給食無償化に要する費用の2分の1を県が負担するとした場合、1年あたり約21億円6千万円となると試算している」と答弁しているが、全国で無償化が進んでいる状況の中、子育て満足度日本一をめざす本県でも、少子化対策の柱のひとつとして取り組むべきではないかと。

【岡本教育長】小中学校給食費無償化はあくまでも設置者である市町村の判断ではあるが、全国都道府県教育長協議会等を通して国へ要望している。

また、子育て満足度日本一をめざし、全庁で議論して支援策を充実させている。



私のHPIにも議会活動・活動報告を掲載していますので御覧下さい。

セキュリティ強化のため、HPのアドレスが変わりました

大分県議会議員 原田たかし

検索

<https://harada-oitakengi.com/>

